

4/29
(水・祝)

尼崎キャンパス 授業公開スケジュール

時間割表

1 限目 9:00 ~ 10:30	『学習技術』 教育学部 教育福祉学科 こども学 川村 光	『学習技術』 教育学部 教育福祉学科 こども学 松岡 宏明	『保育原理』 教育学部 教育福祉学科 こども学 吉村 啓子	『肢体不自由教育』 教育学部 教育福祉学科 こども学 中尾 繁樹
	『学習技術』 教育学部 教育福祉学科 福祉学 尾崎 慶太	『社会福祉援助技術論Ⅰ』 教育学部 教育福祉学科 福祉学 山本 秀樹	『専門演習Ⅲ』 教育学部 英語教育学科 片山 真理 / 他	『ビジネスコミュニケーション技法』 人間科学部 経営学科 上村 和美
2 限目 10:40 ~ 12:10	『社会的養護』 教育学部 教育福祉学科 こども学 松本 恵美子	『音楽Ⅵ・器楽及び指導法』 教育学部 教育福祉学科 こども学 島川 香織	『生活Ⅱ』 教育学部 教育福祉学科 こども学 奥山 登美子	『知的障害者の心理』 教育学部 教育福祉学科 こども学 栢木 隆太郎
	『障害児教育課程論』 教育学部 教育福祉学科 こども学 中尾 繁樹	『社会福祉援助技術論Ⅰ』 教育学部 教育福祉学科 福祉学 山本 秀樹	『就労支援サービス』 教育学部 教育福祉学科 福祉学 道中 隆	『専門演習Ⅰ』 教育学部 英語教育学科 片山 真理 / 他
	『経営戦略論』 人間科学部 経営学科 肖 威	『人間学Ⅱ』 共通教育科目 橋本副学長 / 坂上 雅翁 / 他		
3 限目 13:10 ~ 14:40	『保育内容総論』 教育学部 教育福祉学科 こども学 奥山 登美子	『保育内容・環境』 教育学部 教育福祉学科 こども学 椋田 善之	『初等算数科教育法』 教育学部 教育福祉学科 こども学 上原 昭三	『社会福祉概論Ⅰ』 教育学部 教育福祉学科 福祉学 道中 隆
	『学習技術』 教育学部 英語教育学科 伊藤 創	『学習技術』 教育学部 英語教育学科 吉田 桂子	『リーディングⅢC』 教育学部 英語教育学科 MacAuley	

- 教育学部 教育福祉学科 こども学専攻
- 教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻
- 教育学部 英語教育学科
- 人間科学部 経営学科
- 共通教育科目



■1限

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
1限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	学習技術	川村光	<p>大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養う。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していく。そして、最終的にはコンピュータを活用してレポートを作成することを目標とする。</p> <p>授業はテキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行する。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行う。</p>
1限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	学習技術	松岡宏明	<p>大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養う。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していく。そして、最終的にはコンピュータを活用してレポートを作成することを目標とする。</p> <p>授業はテキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行する。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行う。</p>
1限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	保育原理	吉村啓子	<p>保育所は保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、その主たる目的は、入所している子どもの最善の利益を考慮して保育を行うことである。本講義は、子どもの発達の理解と保育所保育の本質を理解することを目的としている。</p>
1限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	肢体不自由教育	中尾繁樹	<p>肢体不自由児(者)の正しい理解と認識を深めるとともに、肢体不自由教育の実態、教育課程、指導内容・方法、自立活動、進路等について具体的な実践を学ぶこととする。肢体不自由を主とした特別支援学校及び特別支援学級での教育の中核活動である授業を中心に、「個別の指導計画」及び「個別的教育支援計画」、並びに評価と授業改善について学習する。さらに肢体不自由教育における特徴的な指導について、身体の動き、感覚的アプローチ等の実践的理論と指導における活用を理解する。</p> <p>それらの学習によって基本的な知識及び技能の習得を目指し、肢体不自由のある子ども一人ひとりへの具体的な支援の手立てを考えていく。ライフステージをそった様々な事象や現象について触れながら肢体不自由児の授業の進め方、指導法等を理解し、将来の進路に向けた資質向上につなげるようにする。</p>
1限	教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻	学習技術	尾崎慶太	<p>大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養う。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していく。そして、最終的にはコンピュータを活用してレポートを作成することを目標とする。</p> <p>授業はテキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行する。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行う。</p>
1限	教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻	社会福祉援助技術論 I	山本秀樹	<p>本講義では社会福祉の専門職に求められる、円滑な人間関係を形成していくための専門援助技術の基礎を学んでいく。学習の対象となる領域は、社会福祉援助技術における概念・歴史・理論と実際等多岐に渡るが、具体的な事例と理論の往還の中で、社会の安全装置としてのソーシャルワークがどのように用いられてきたのかについて学びを深めていく。</p>
1限	教育学部 英語教育学科	専門演習Ⅲ	片山真理 / 他	<p>大学での学びの集大成としての卒業論文を作成する準備を行う。研究論文のスタイルを知り、必要な情報の集め方やテーマの選び方など、またテーマを設定しようとする分野の現状について文献を読み、必要な基礎知識を身につける。上級生の論文作成過程を参考にしながら、自分のテーマ選びのための分野を選び、絞り込んでいく。</p> <p>また、卒業後の進路のためにキャリア対策を一部行う。具体的には、一般常識や企業に関する情報収集の方法、就職活動の基本について学び、自分の卒業後のビジョンを固める。</p>
1限	人間科学部 経営学科	ビジネスコミュニケーション技法	上村和美	<p>ビジネスコミュニケーションとは、仕事上の思考や知識を意思伝達するもので、人間関係力の強化を目指すものです。具体的には、ビジネスマナー、コーチング、ファシリテーション等がそれにあたります。</p> <p>本講義では、コミュニケーションの基礎から学び、実践に役立つようワークショップ形式でビジネスコミュニケーションの技を身につけます。</p>

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
2限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	社会的養護	松本恵美子	近年、児童を取り巻く環境は人的な環境も含め、家庭・地域等すべてが大きく変化し、児童にとって決して住み心地のよいものとは言えなくなっている。そのために社会的に養護されるべき児童のニーズは大きく変化しそのサポートのあり方も大きく変容を遂げている。 これらの背景を念頭に、児童の養護に関する歴史や法制度についての学びを通して、児童養護の意義と原理、及びその実行機関である児童福祉施設について学ぶ。そしてその施設に求められる専門性や価値は何かについて学ぶことで、児童に関わる専門職としての基本的な資質を高める。
2限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	音楽Ⅵ・器楽及び指導法	島川香織	音楽ⅠからⅤで学んだ声楽・理論・ピアノ演奏法の知識・技能を基に、まとめ、教育現場に向けた取り組みとして、一斉授業・グループワーク・個人レッスンを行う。 授業以外においても、空き時間を利用して、しっかりと予習・復習を行い、演奏技術の向上に向けて努力すること。
2限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	生活Ⅱ	奥山登美子	○「生活Ⅰ」での学びを生かして、生活科の目標・内容・特性等の理解を深める ○発表活動やグループワーク、生活科教材の作成体験などを通して、より実践的な学習を行い、生活科 授業の楽しさ、奥深さを知る。
2限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	知的障害者の心理	栢木隆太郎	特別支援教育が本格的に始まり数年が経過した。現在では、この教育の一層の推進と充実が求められている。そのためには、知的障害者の心理を理解することが基本といえる。 この講義では、知的障害者や発達障害者に関わる心理学的な基礎知識を概説することをねらいとしている。具体的には、幾つかの事例からその発達特性や認知特性および行動特徴を紹介し、知的障害者や発達障害者の示すさまざまな行動を心理学的な視点から捉え、その教育的支援の在り方を講義する。
2限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	障害児教育課程論	中尾繁樹	教育課程とは何かを理解し、教育課程を規定している法令を知る。その上で、通常の教育における幼稚園学習要領、小・中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領と特別支援教育における学習・指導要領を比べて、特別支援教育における指導要領の特徴を学ぶ。また、視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱の特別支援学校における教育課程を学ぶ。
2限	教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻	社会福祉援助技術論Ⅰ	山本秀樹	本講義では社会福祉の専門職に求められる、円滑な人間関係を形成していくための専門援助技術の基礎を学んでいく。学習の対象となる領域は、社会福祉援助技術における概念・歴史・理論と実際等多岐に渡るが、具体的な事例と理論の往還の中で、社会の安全装置としてのソーシャルワークがどのように用いられてきたのかについて学びを深めていく。
2限	教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻	就労支援サービス	道中隆	人は、働くことを通じて人や社会とつながる喜びを感じ、自分の能力を発揮することに充実感を感じる人が多い。しかし、効率や競争が激しい労働市場においては、心身の機能に不調がある人や就労経験の少ない人は、働く機会が閉ざされたり、排除されてきた。 この間、「福祉から就労へ(welfare to work)」という理念に基づいて政策転換されたが、就労による自立・生活の向上を支援する対象者は、障害者やひとり親の母親が中心であった。近年、働く希望をもちながらも就職できない「就労困難者」や「就労継続困難者」といわれる人が増え、就労と関連した生活困難に直面する人々が抱える課題は多様化している。生活保護から自立したにもかかわらずワーキングプアの状況が報告されるなど、「福祉からワーキングプアへ(welfare to working-poor)」と問題の所在を移しているに過ぎない実態もある。 社会福祉士としての就労支援の特徴は、就労を生活全体から捉えて、他の関係機関や専門職と連携しながら、利用者一人ひとりの自己実現をはかっていくことにある。就労支援サービスの学修目標は、障害者や低所得者に対する就労支援活動において、相談援助の専門職に求められる基礎的知識と考え方を習得し、低所得者や障害者、ひとり親等の就労の現状を理解するとともに各種の就労支援サービスについて学修する。また、就労支援に関連する組織・団体、専門職の役割や連携について学ぶ。
2限	教育学部 英語教育学科	専門演習Ⅰ	片山真理 他	In this seminar, you'll learn how to make a research and experience poster presentation. You'll plan your study for your future job. As for research, you'll learn the organization of research and try to make a rough research plan including styles and skills. For poster presentation, you'll learn how to make a good poster and have a presentation in June.
2限	人間科学部 経営学科	経営戦略論	肖威	ビジネスの基礎知識として知っておきたい経営戦略を、現実の身近な企業の事例を通して学習していく。具体的には、戦略の定義および要素、自社の競争力や業界の競争構造を分析する手法として3C分析とSWOT分析、ファイブフォース分析、事業戦略としてのコスト・リーダーシップ戦略、差別化戦略、集中戦略、更に、製品のライフサイクル別の戦略や市場ポジショニング戦略、自社競争力を高めるためのコア・コンピタンスの構築、事業ドメインの考え方、経営資源の戦略的配分(PPM)など、戦略の基本ツールや枠組みについて学習する。
2限	共通教育科目	人間学Ⅱ	橋本副学長 坂上雅翁 他	<全体> 科学とは、本来「人間」の生活をよりよくするために発達してきた。本科目では、様々な学問(科学)分野から、「人間」に引き寄せて、ライフコースの長いスパンを見通して、自分の人生について主体的に考え、生き抜いていくために必要な「考える手ごかり」を提起していく。本科目を通し、受講生が自分自身の人生観や世界観の確立にとって必要な知的刺激を受け、自分の生き方を考える自立した職業人になっていくことを期待している。 人間学では、大学での学びの基本を身につけるとともに、春・秋3本ずつ、年間を通じて6本のレポートを書く。一つ一つのテーマについて、自らの問題としてとらえ、しっかりと自分の意見を持ってほしい。 なお、この科目は、履修者を3つのグループに分け、3人の教員による輪講形式で進められるため、グループごとに受講順序が異なる。しかしどのような順序で学んでも、授業の進行には差し支えないよう配慮されている。 <コミュニケーション>(橋本健夫) 私が担当する5回の講義では、「コミュニケーション」をキーワードにして人間を考える。まず、生物としての人間を考え、その大きな特性である他人との関係に焦点を当て、その意義や生かし方を考える。授業毎の小テーマに沿って自分を振り返り、自己認識を高めるとともに、論理的に考え社会に発信し続けることができる将来像を描く。 <安全・安心>(松下義行) 安全安心は社会の基盤。そのリスク要因と影響が増大している現状を認識し、そのために必要な危機管理の仕組み(安全対策、リスクマネジメント、危機対応)と危機管理マインドを学び、将来のキャリアに役立つ「情報・判断力」及び「対応力」を養成する。 <人生>(坂上雅翁) 人は生まれれば必ず死ぬ。この事実を知ってはいるが、理解できていないのが人間である。誕生してからさまざまな事を経験しながら成長し、時には病を得て病院のベッドに伏し、年老いて死を間近に感じながら、人生を振り返るのである。 この講義では、人生の喜び、悲しみ、不安などをどう捉えていったらいいかを、さまざまな場面を設定し、考えてもらうこととする。人生80年代の残り四分の三の予定演習のつもりで受講して欲しい。

■3限

時限	学部・学科	科目名	担当者	授業概要
3限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	保育内容総論	奥山登美子	少子化、保護者の子育てのありかた、社会状況等、現在の幼稚園を取り巻く環境は大きく変化してきている。ここでは、学校教育の最初であり、人間形成の基礎を培う幼児期の教育として非常に重要な幼稚園教育について学ぶ。具体的な内容としては、幼稚園教育の基本や役割、幼児期の発達の特徴、幼児理解等である。これら幼稚園教育全般について学びながら、教育するとはどのような意味を持つのかについて考察する。方法としては、DVDや事例を基に、具体的に記録をしたり学びを考えたりする。講義形式だけではなく、グループワークも多く取り入れる。
3限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	保育内容・環境	椋田善之	身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」は「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」観点から子どもの育ちを考えていく領域である。そのためには乳幼児自身の活動を通して好奇心・探究心がどのように育ち、保育者はどのように援助していけばよいかを理解しなければならない。この授業では、乳幼児自身の好奇心・探究心の育ちと、それを育てるための保育者の援助・指導法について理解を深める。 <「保育内容・環境」で学ぶ主な内容> ■幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」の理解 ■子どもの好奇心・探究心、疑問や予想の意味の理解—子どもの発想を理解する ○ 様々なものに対する気づき、好奇心・探求心の芽生え ○ 目的意識(疑問や予想など)を持つことと子どもなりの問題解決 ■保育実践の具体例と展開方法—子どもの好奇心・探究心、疑問や予想の意味の理解した上で、どのように保育の展開を行えばよいか ○ 園での生活と領域「環境」、環境構成の工夫
3限	教育学部 教育福祉学科 こども学専攻	初等算数科教育法	上原昭三	小学校で実際に算数の授業を行うこと(教育実習含む)を念頭に置いて、それに必要な知識・技能・考え方について、学習指導要領等を踏まえて理論的に学ぶとともに、模擬授業づくりなどのグループワークや演習を通して実践的に磨いていく。
3限	教育学部 教育福祉学科 福祉学専攻	社会福祉概論 I	道中隆	現代社会の世代間の価値観の多様化や家族のあり方の変化、核家族化の中で社会福祉の本質的な内容を講義形式で、①現代社会における福祉制度と福祉政策、②福祉の原理をめぐり理論と哲学、③福祉制度の発達過程、④福祉政策におけるニーズと資源を各回の主題、領域にわけて総論的に学ぶ。その上で、問題や困難な課題を抱えている人や、援助に関わる人が人として自分らしく生きることを主体的に考えていけるよう、社会福祉制度を構築やサービス提供のメニューを検討していく。
3限	教育学部 英語教育学科	学習技術	伊藤創	大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養う。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していく。そして、最終的にはコンピュータを活用してレポートを作成することを目標とする。授業はテキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行する。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行う。
3限	教育学部 英語教育学科	学習技術	吉田桂子	大学で授業を受けるにあたって必要となる基礎的な能力を養う。基礎的な能力としては「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つを設定し、受講の際に必要な能力から順に習得していく。そして、最終的にはコンピュータを活用してレポートを作成することを目標とする。授業はテキスト『知へのステップ』の章構成にしたがって、1回の授業につき1章のペースで進行する。また、ワークシートを用い、その設問をこなしながら実践的に行う。
3限	教育学部 英語教育学科	リーディングⅢC	MacAuley	At the end of the semester, T50 students are expected to comprehend and interpret as many LEVEL 6 (Distinguished) READING TEXTS related, but not limited to traditional Japan and Cool Japan and safety and comfort, which will provide them with reading skills necessary to achieve a TOEFL score of 500 or higher.